

本校生徒を取り巻く教育環境

—国際交流に取り組む環境整備にむけて—

筑波大学附属駒場中・高等学校 生徒部

真梶 克彦・平原 麻子・入江 友生
亀村ひかり・高橋 宏和・登坂 太樹
吉田 哲也

本校生徒を取り巻く教育環境

—国際交流に取り組む環境整備にむけて—

筑波大学附属駒場中・高等学校 生徒部

真梶 克彦・平原 麻子・入江 友生
亀村ひかり・高橋 宏和・登坂 太樹
吉田 哲也

要約

附属学校3拠点構想のうち「国際教育」拠点という観点から生徒をいかに支援していくか。グローバル社会の中でコミュニケーション能力を持った生徒をどう育てていくか。生徒部では教員主導型ではなく生徒主体の視点から、おもに生徒自治会役員生徒を中心とした取り組みをサポートしてきているが、これまでは外部団体からの提案によるコラボレーションが多かった。今後は、今までに積み上げてきたことにプラスして、さらにはどのような展開を図ることが望ましいか。自らの体験を重ねることで生徒が新しい発想を得ることや、卒業生の人脈を活かすことなどに注目したい。

キーワード：国際交流、コミュニケーション能力、生徒自治会、直接体験、卒業生

1 はじめに

近年の中等教育において「国際交流」はきわめて重要な要素となっている。本校にとっても同じことが言える。筑波大学の第2期(平成22~27年度)中期計画・中期目標を受け、筑波大学附属学校教育局は「先導的教育拠点」、「教師教育拠点」、「国際教育拠点」の3つの拠点構想を附属学校将来構想の基本方針として挙げた。また、本校における第2期SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール、平成19年度)の研究内容においても、『国際科学五輪などの世界を視野に入れた生徒の自主的研究・交流活動の支援』を5つの柱のうちの1つとするなど、「国際交流」は本校にとって戦略的に重要な位置づけとなってきている。

また同時に教育内容においては、新指導要領で積極的に取り上げられるなど、生徒につけさせたい力として「コミュニケーション能力」が注目されている。

「コミュニケーション能力がある」とはどういう状態を指すのか? 英語本来の用法を参照すれば、communicate とは 'to express your thoughts and feelings clearly, so that other people understand them' (他の人が理解できるように自分の考えや気持ちを明確に表現すること: *Longman Dictionary of Contemporary English* より) であり、さらに複数の人

間が communicate しているとは、'they can easily understand each other's thoughts and feelings' (お互いの考えや気持ちを容易に理解できる: 同上) 状態のことである。つまり、一方的に伝えて終わるのではなく、相手の考えや気持ちもよく理解できていなくてはならない。「コミュニケーション能力のある生徒」とは、そのようなことができる生徒のことである。こういった能力を持つ人材は今後、日本国内のみならずグローバル化の進む国際社会でいちだんと重要になってくるだろう。

日本国は歴史上、多民族の共生という必要性に迫られることがほとんどなく、その影響か閉鎖的な国民性をしばしば指摘されてきた。また、近頃の若者が海外に出たがらない「内向き」傾向も昨今「話題」となっている。このような環境で生きる生徒たちに視野を広く持たせ、彼らの内面に「グローバル社会の一員としての自覚」(global citizenship)を涵養するためには、学校はどのようなことができるだろうか。

可能であれば、生徒自身が海外で生活し学ぶ機会を提供することが一番効果的であろう。しかし、全ての生徒にそのための金銭的・時間的余裕を保障することは困難である。となれば次善の策として、海外からの訪問者に学校の門戸を開き、日常的な場面で彼らと共同作業をしたり意見交換をしたりする機会を作りつつ

生徒の意識を高めていくことが考えられよう。

本稿では、現在の筑駒ではどのようなことができているのかを確認しつつ、筑駒の現状を分析したうえで今後の展望について考えたい。

2 生徒を取り巻く環境

2.1 本校の現状

筑波大学は文部科学省による国際化拠点整備事業（グローバル30）に選ばれ、国際的に開かれた大学作りを目指している。またその附属学校に対しては、2008年より将来構想の基本方針として「3つの拠点構想」の展開を求めており、2010年度はいよいよ実施の年度となった。

「3拠点」とは、1）先導的教育拠点、2）教師教育拠点、3）国際教育拠点の3つを指し、本校ではこれらにそれぞれ対応する形で全教員が参加するプロジェクト委員会を構成し活動している。「国際教育拠点」に対しては「国際交流プロジェクト委員会」（構成員：今年度8名）がその任にあたる。ちなみに、本校の国際交流関係の教員組織は2007年度より発足し、2009年度の組織改編を経て今年で4年目を迎える。その他、筑波大学附属学校教育局では各附属学校の代表からなる「国際教育推進委員会」という組織も存在し、国際教育に関して大学教員と小・中・高教員との連携が図られている。

本校「国際教育プロジェクト委員会」の目標は「トップリーダー形成の一助として国際感覚を涵養するためのプログラム開発・研究を行い、将来国際貢献できる人材の育成を図る。教員レベルでの国際的な情報交換および研究協力も視野に入れつつ、附属学校の国際教育拠点構想を推進していく」ことにある。このように活動の主役は生徒にあるため、プロジェクト委員会と生徒部との緊密な連携プレーが必要とされる場面が多い。

学校をあげての国際教育の取り組みとしては教員自身への啓蒙活動も非常に重要だが、本稿の性質上、生徒にかかわる部分を中心にこれまでの活動を振り返り、現在抱えている問題点について触れることとする。

2.2 これまでの取り組み

2.2.1 ユネスコスクールへの参加

ユネスコ・スクールとは1953年にユネスコが「国際理解のための教育」を全世界的に推進する目的で始めた事業で、日本も当初から参加している。本校は1959

年にユネスコ協同校となった。2000年代に入ってユネスコがESD（education for sustainable development：持続可能な開発教育）の推進を担うようになり、ユネスコスクールでもESDをその活動の中心に据えるようになってきている。主な領域としては食育・環境教育・平和教育などがあげられる。

本校でも年間を通して中1・高1が携わる米作りを軸に、カリキュラムの上でESDを意識するようになってきたが、まだ全教科で全体的な俯瞰図を描くにはいたっていない。また、生徒の中にユネスコ関連の活動を主に進めていく団体もない。

2.2.2 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定

本校は2002年度にSSH研究開発校に指定されて以来、第1期5年間（2002年～2006年）を経て、現在は第2期5年間の第4年次を展開中である。SSH校であることが国際教育を推進するうえでも大きな力となっている。なぜならば、第1期SSHでの研究開発課題は「先駆的な科学者・技術者を育成するための中高一貫カリキュラム研究と教材開発」だったが、第2期のそれは「国際社会で活躍する科学者・技術者を育成する中高一貫カリキュラム研究と教材開発—中高大院の連携を生かしたサイエンスコミュニケーション能力育成の研究—」であり、SSHの予算から生徒を海外派遣する際の資金を調達できるからである。次項で見ると、この資金のおかげで本校生徒が学校の枠を超えて活動できる機会が増えてきた。

2.2.3 過去4年間における国際交流活動

以下にこの4年間における、生徒がかかわった国際交流活動の歩みをあげる。特に網がけの部分は、生徒自治会役員を中心とする生徒が積極的にかかわった企画である。

①2007年度

- a. ドイツ大使によるEU講演会
- b. 若手外交官日本語ブラッシュアップ研修への協力、ならびに外国の若者との交流会【特定非営利活動法人Japan Return Programへの協力事業】

*日本語を学ぶ外交官や各国の若者が本校に集い、自国の紹介プレゼンをしたり、色々なトピックでディスカッションを行う催しである。共通言語は日本語であるため、中学1年生からでも参加しやすい。毎年、生徒自治会役員が受け入れの準備を進め、全校生徒に呼び掛けて参加者を募り、当日の運営も切り盛りしている。

c. The Program of 2007 Asian Science Camp

8月5日～11日 台湾 本校高校3年生3名参加。
その他、各種国際オリンピックへの参加

d. JICA 青年研修受け入れ：アフリカからの教員訪問。理数科の授業参観と生徒との懇談。

②2008年度

a. フランス大使による EU 講演会

b. 若手外交官日本語ブラッシュアップ研修への協力、
ならびに外国の若者との交流会 (前述)

c. 各種国際オリンピックへの参加

d. 北京師範大学附属実験中学校との生徒研究交流
[SSH 事業の一環]

2008年12月25日～30日に相手校を訪問(参加生徒
10名)

③2009年度

a. 海外修学旅行生徒の受け入れ

2009年11月18日 Anglo-Chinese Junior College
(シンガポール) 生徒30名来校・本校授業に参加
*生徒自治会役員を中心に、まず歓迎式典を行った
うえて、バディシステム(一人ずつ、ないしはグル
ープ単位でエスコート担当者を決め、教室へ案内し
て一緒に授業を受けるなど、最後まで責任を持って
面倒をみる体制)で理科や数学の授業に参加しても
らった。共通言語は英語なので、活動する生徒は高
校生が対象となる。

b. 若手外交官日本語ブラッシュアップ研修への協力
ならびに外国の若者との交流会 (前述)

c. 各種国際オリンピックへの参加

d. 台湾国立台中第一高級中学校との生徒研究交流
[SSH 事業の一環]

2009年12月14日～19日に相手校を訪問(参加生徒
10名)

日頃の数学・科学の研究成果の発表とともに、本校
の紹介を行う。

*派遣生徒のうち、高校2年生が研究発表、高校1年
生が学校紹介を行った。行事や普段の学校生活など
筑駒の様子がよく伝わるように練りに練った内容で、
発表当日の朝までプレゼンの練習に取り組み、本番
は笑いを取りながらの堂々たる発表であった。

④2010年度

a. 海外修学旅行生徒の受け入れ

2010年5月10日 Amity International School (イ
ンド) 生徒10名来校・本校授業に参加

b. 若手外交官日本語ブラッシュアップ研修への協力
(前述)



2010年度外交官フォーラム

c. マイクロソフト Imagine Cup 2010 (ポーランド)
へ日本代表として参加 ←テーマは ESD
その他各種国際オリンピックへの参加

d. 台湾国立台中第一高級中学校との生徒研究交流
[SSH 事業の一環] <資料1>

2010年12月14日～19日に相手校を訪問(参加生徒
14名) 研究発表とともに本校紹介
(前述)

e. 生徒自治会企画

ア. 本校卒業生を中心とした海外大学生との座談会企
画運営 <資料2>

*海外の大学で学ぶ大学生を招き、学校が行う進路懇
談会とは違った視点から自分たちの将来や、今やる
べきことについて考えるための企画で、本校卒業生
を含む多彩な現役大学生が講師として参加した。企
画を発想したのは自治会役員自身ではなく、本校卒
業生からの提案によるものだった。

イ. 英語版学校紹介冊子の作成 <資料3>

*文化祭で配布したほか、海外交流の場面で配布

2.3 生徒の活躍

上記で概観したように、国際交流プログラムの企画
運営は教員が中心とならざるをえない場面が多いが、
その中でも確実に生徒中心の取り組みも増えてきてい
る。特に今年度は生徒自治会役員の国際交流へ対する
意識が高まった。

とりわけ彼ら自身が、研究交流に赴いたり海外から
の修学旅行生と授業を一緒に受けるなど国際的な場面
での経験を積むにつれ学校を紹介する適当な英文冊子
がないことをはがゆく思い、初めての試みとして生徒
自らの手で英文学校紹介冊子 *Tsukukoma Guidebook*

を作成したことは意義深かった。この冊子は本校への海外からの来客に提供したり、台湾訪問を含めた国内外での国際的な集まりの場で配るなど、本校への理解を深めるうえで大活躍している。学校側ではなく生徒側の視点からまとめられている点が特に興味深く好評である。

「自分たちの手で学校紹介冊子を作って母校への理解を深める」というような発想は、自らが色々な体験を積んで苦労していなくては、まず出てくるものではない。

3 教員主導から生徒中心の取り組みへ

3.1 質的変換の難しさ

今までの国際交流はほとんどが教員サイドから提案をし、場合によってはその具体的運営を生徒に降ろして彼らにまかせる形でやってきた、というのが正直なところである。しかしそれでは自立した生徒を育てるうえで不十分であることを強く感じている。

昨年度から今年度にかけては、生徒自治会とは独立した「国際交流委員会」のようなものを設立することを目標にしていた。この組織は生徒自治会組織図の中に新たに新委員会を位置づけるのではなく、ボランティアグループのような融通の利く形で、随時生徒が関心のあるテーマのもとに集まって活動することを考えたものである。本校はSSH校であるが、「サイエンス・コミッティー」という生徒の任意ボランティア団体が存在し、彼らが生徒独自の視点から学校と協力してSSH活動を進めており、「国際交流委員会」もこのありかたを手本としたいと考えた。しかしこの発想も所詮教員側からのものであり、現実には、忙しい生徒たちの間から自主的にそのような気運が高まるように声掛けしていくのは難しいことが分かった。

結局は既存の生徒自治会役員会の活動を活発化することが、現時点での落とし所であるようだ。今年度は役員に立候補する生徒も多く、久しぶりに定数の10名で活動できるようになった。その結果、生徒自治会主催の形で上記2.2.3の④-eのように2つの新企画に取り組むことができた。

3.2 生徒の自主性を涵養する要素

前述したように、新企画のうちの英文冊子作りは、生徒自身が国際的な場面での活動を通して実感したことが発端となっている。

また先輩を招いての座談会企画は、ここ7・8年間継

続して行っている自治会が主催して卒業生を講師に招き講演会を行う、という活動実績の上に立つものである。

余談ではあるが、今年度の生徒自治会主催講演会は2010年12月に開催され、小型衛星探査機「はやぶさ」にかかわってきたJAXA 阪本成一教授（第32期卒業生）による、タイムリーな素晴らしい内容の講演であった。「はやぶさ」というテーマは直接「国際交流」とは繋がっていないが、国と国（インターナショナル）、という関係を超えて宇宙へと視点をいざない、インタープラネットとでも言うべき未来のコミュニケーションを予感させるものである。

このように各界で活躍する卒業生に恵まれていることは本校の特徴のひとつであり、「国際交流」の観点からも優れた人材にことかかないことは明らかである。

今後も、①「内外を問わず国際的な場面での生徒の直接体験」と②「卒業生の活用」を手掛かりに、生徒自身の発想を大切にしたい取り組みを展開していくことが大切であろう。

(文責 平原麻子)

<資料1> 2010年度 台湾国立台中第一高級中学校との生徒研究交流スケジュールと交流風景

*スケジュール

Schedules for Tsukukoma's Visit to T.C.F.S.H.

The First Day (Dec.16th)

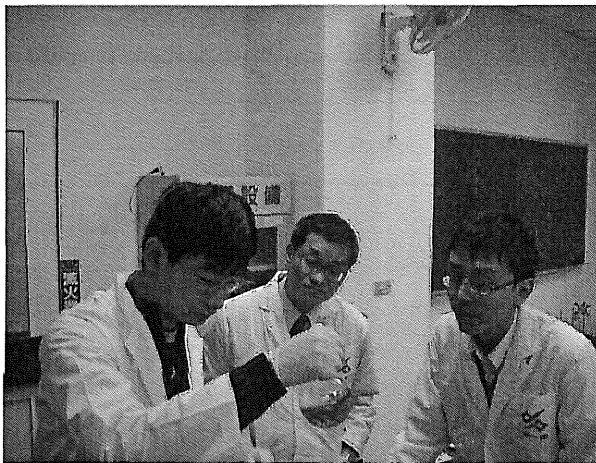
Time	Activity	Subject / Topic	Presenter(s)
13:10~15:00	Join Our Class!	Chemistry class	TCFSH Class
15:10~17:00	Join Our Class!	Math class	TCFSH Class

The Second Day (Dec.17th)

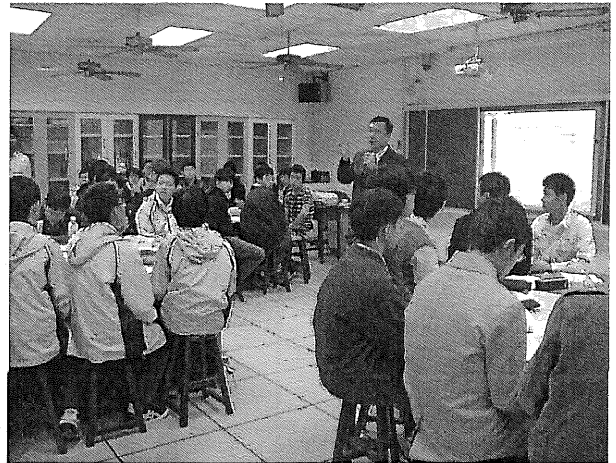
Time	Activity	Subject / Topic	Presenter(s)
09:00~09:20 (20min)	Opening Ceremony		
09:20~09:50 (30min)	Project Presentation	Math	Tsukukoma Student 1
09:50~10:20 (30min)	Project Presentation	Physics	Tsukukoma Student 2
10:20~10:40 (20min)	Short Break		
10:40~11:10 (30min)	Project Presentation	Biology	Tsukukoma Student 3
11:10~11:40 (30min)	Project Presentation	Medicine & Health Science	TCFSH Tsong-Han Chan
11:40~13:00 (80min)	Lunch Time		
13:00~13:10 (10min)	Preparation for the Evening Session		
13:10~13:40 (30min)	Project Presentation	Math	Tsukukoma Student 4
13:40~14:10 (30min)	Project Presentation	Physics	Tsukukoma Student 5
14:10~14:40 (30min)	Project Presentation	Math	Tsukukoma Student 6
14:40~15:10 (30min)	Project Presentation	Animal Science	TCFSH Yung-Kang Chen
15:10~15:40 (30min)	Tea Time		
15:40~15:50 (10min)	Preparation for Cultural Exchange Presentations		

15:50~16:50 (1hr)	Cultural Exchange	Introduciotn of Tsukukoma High School Life	Tsukukoma First-year Students
	Project Presentation	Chinese & Japanese Classics	Tsukukoma Student 7
	Project Presentation	Linguitics	Tsukukoma Student 8
16:50~17:00 (10min)	Closing Ceremony		

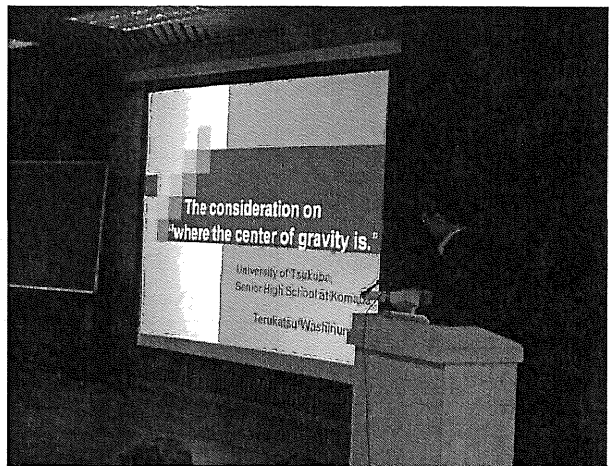
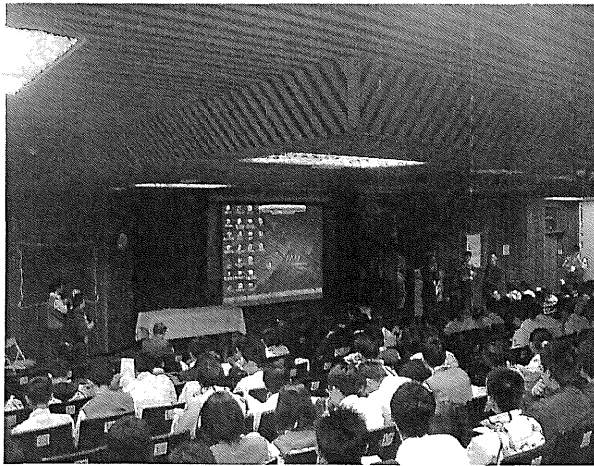
* 交流風景



12/16 Chemistry class



12/16 Math class



12/17 Project Presentation

2010/06/21

2010年度前期 高校生徒自治会役員会

大学生との座談会 参加者募集のお知らせ

この度、自治会役員会では、東京大学・一橋大学・ハーヴァード大学等の大学生有志の団体と合同で、下記のような座談会を行うことになりました。筑駒OBを含む、現役大学生と少人数でお話ができる貴重な機会です。参加を希望する方は、この用紙の一番下にある参加申し込みに記載し、旧中図の自治会室前の提出箱に入れてください。準備の都合上、当日参加は不可とさせていただきます。申込用紙の提出期限は期末試験最終日の7/6(火)12:30とさせていただきますが、応募者多数の場合、先着順で締め切らせていただく場合もありますので、ご了承ください。

記

- 1.) 日時と場所： 7/10(土)13:30～15:30(時間は予定)、50周年記念会館にて
- 2.) 対象： 主に高校生。意欲のある中学生も歓迎。
- 3.) 趣旨： 高校生にとって最も身近な存在でありながら、話す機会の少ない大学生と意見交換し、各自の専攻・将来を考える手がかりとする。
- 4.) 内容： 基本的には参加者の希望によって臨機応変に対応するが、一例として以下のような内容が考えられる。
 - ・日米大学の生きた情報の提供(各大学や各専攻、課外活動の情報)
 - ・海外の大学への進学という選択
 - ・大学生が薦める高校生活の有意義な過ごし方
 - ・英語の実践と国際交流
- 5.) 大学生： 筑駒OBを中心に、学部生15～20名程度を予定
(東京大学・一橋大学・ハーヴァード大学等)

(文責：谷川)

-----<キリトリ>-----

自治会主催 大学生との座談会 参加申し込み

____年____組____番 名前：_____

興味がある話題・分野(おおまかでも良いので何か書いてください)

~Contents~

Outline of the school system	p.2
1. The mission of the school / 2. The school emblem / 3. The school song /	
4. Our students	p.2
5. The time schedule of the day	p.3
6. School uniforms / 7. The school library	p.4
The school building and equipments	p.5
1. The school building	p.5
2. Tsukukoma's places of interest and equipment	p.5~7
Studies	p.8
1. The school curriculum	p.9
2. Our points of our classes / 3. Excursions	p.10
School events	p.11
1. Chorus Competition / 2. Sports Festival	p.11
3. School Festival / 4. Road Race	p.12

**everything
you need**

Jr. and Sr. High school at Komaba University of Tsukuba School guide

Tsukukoma Guidebook 2010

(English version)

**to understand
Tsukukoma**

Written and edited by

The High School Students' Council

*This guidebook is an English translation of "筑駒白書 2009", the second latest version of our school guidebook.
Some of the information may be old, but there is not much difference to the latest version.

~Outline of the school system~

1. The mission of the school

"To lead students who aim to challenge, create, and contribute in a free and generous school atmosphere."

- established in 1996

These words directly describe our school.

"*Challenge*" describes the creativeness without a fixed sense of value.

"*Create*" describes the spirit of the free and generous mood.

"*Contribute*" describes the act of returning what we were given to the society by

"Challenging" and "Creating".

Especially the word "*Free and Generous*" is a famous word for describing our school in one word.



2. The school emblem

Our school emblem describes an ear of wheat.

3. The school song

Our school song was made by Mr. Keizo Horiuchi, a famous composer.

It is played by the brass band club and students sing it out loud at various school events.

4. Our students

Our school is a boys' school, and there are around 40 students in our usual class.

The middle school has 3 classes per grade which makes 120 students in all.

The High School takes an additional 40 students by the entrance exam so there are 4 classes per grade, 160 students in total.

So there are about 840 students in our school.

5. The time schedule of a day

<Weekdays>

Arriving Time to School	8:00am~8:30am
First Period	8:30am~9:20am
Second Period	9:30am~10:20am
Third Period	10:30am~11:20am
Fourth Period	11:30am~12:20pm
Lunch Break	12:20pm~13:00pm
Fifth Period	13:10pm~14:00pm
Sixth Period	14:10pm~15:00pm

*This time schedule is same throughout the whole year.

<Saturdays>

Our school is a national school so we shouldn't be having school on Saturdays. But we sometimes have school on Saturdays to do special classes.

So our school has special holidays during the weekdays to make up the extra no-school days. Most of the extra no-school days are put before our end-term tests so we can study.

<Sundays>

We have no school on Sundays.

But we are allowed to use classrooms if we get permission from our teachers.

6. School uniforms

We don't have school uniforms.

We are allowed to dress freely, but we have to wear shoes which are given from the school.

7. The school history

The year 2011 is our school's (Komaba Junior High, and High School of Tsukuba University) 65th anniversary. Our school has been a boys' school since it was founded, and even now the tradition is carried on from our seniors to us.

<A brief history of our school>

1947: Founded as "*Junior High School of Tokyo Agriculture Education School*"

1949: Changed school name to "*Junior High School of Tokyo Agriculture Education School, Tokyo Education University*"

1952: Changed school name to "*Junior High, and High School of Tokyo Education University*" (aka. *Kyonikoma*)

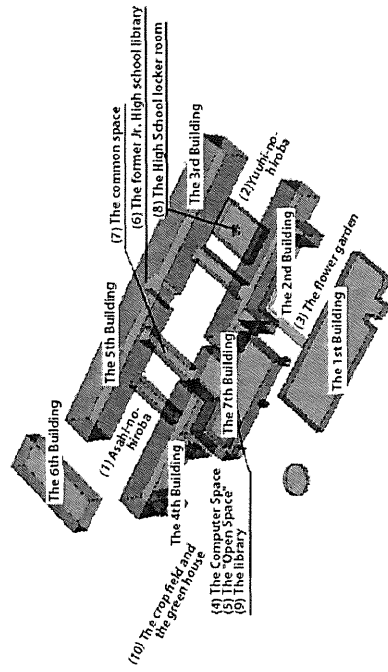
1956: The escalator system from Junior High School to High School was established this year.

1978: Changed school name to "*Jr. and Sr. High School at Komaba, University of Tsukuba*" (aka. *Tsukukoma*)

2010: The 65th anniversary

ment~

1. The school building



2. Tsukukoma's places of interest and equipment

(1) *Asahi-no-hiroba* (The Square of the sunrise)

This square locates between the Junior High School building (No.4 building) and the No.5 building. The square itself is covered with asphalt, and there are two basketball rings.

It is named like this because it is in the east part of the school ground and the morning sun light shines into this square.

(2) *Yūthi-no-hiroba* (The Square of the sunset)

This square locates on the other side of the school, between the High School building (No.2 building) and the No.3 building. The area of the square is half that of the *Asahi-no-hiroba*.

At the end of the day, the warm sun light of the sunset shines into this square.



~4~

~5~

(3) *The flower garden (aka. Komiya garden)*

Our music teacher, Mr. Komiya takes care of this garden (which is why we call the garden Komiya garden), and beautiful flowers bloom all year around.



(4) *The Computer Space*

There are 42 computers in this room, which are mostly for students. These computers are used during Computer Classes, and it is also OK for the students to freely use the computers after school.

(5) *The "Open Space"*

This is a big room that can accommodate up to about 400 people at once. The room has desks, chairs, a stage, an overhead projector, and a big screen. It is used for lectures, classes, and other various events.



(6) *The former Junior High School library (Kyu-chu-to)*

As the name shows, this place was once a library for the Junior High School students, but now nobody knows how it once looked like.

The space is now used by the Junior High School and the High School students' council, and also by the School Festival executive committee.



It also has a multimedia room that has about 8 to 9 computers.

Also, there are two grand pianos in the space, which students use to practice singing before the Music Festival.

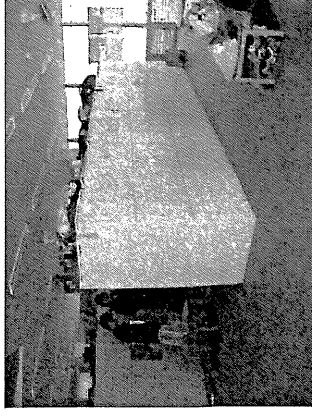
(7) *The common space*

There are sofas and tables in this space. It is an open and comfortable space and students enjoy talking, playing and sometimes sleeping in this place.



(8) *The High School locker room*

Built in 2008, this 60th anniversary memorial building is the newest of all buildings in our school. This building is surrounded by glass and we have grass planted on top of the building.



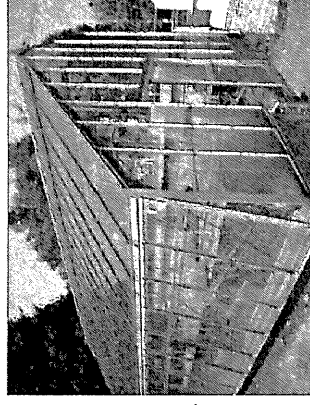
(9) *The library*

There aren't many books in the library, but there are a lot of desks for students to study in the library.

(10) *The crop field and the green house*

There is a crop field in our school. This field is used to grow sweet potatoes, which is one of the unique classes in our school.

Also, the green house is used to grow young rice plants.



1. The school curriculum

(1) The Junior High School curriculum

Junior High School students will take classes as shown in the graph.

Japanese	3 ~ 5 days a week
Social Studies	
Mathematics	
Science	
English	
Music	1.5 ~ 2 days a week
Art	
P.E	3 days a week
Industrial Arts and Homemaking	2 days a week
Moral education	1 day a week
Homeroom meeting	

Also during Junior High 3rd grade, there is a class called "Challenge Studies", which is held once a week. This class has three subjects; mathematics, Japanese, and English.

We are allowed to select one from the three subjects.

(2) The High School curriculum

In the High School, we have to earn a total 77 credits to graduate.

Also, our time schedule isn't always consistent.

In most schools, teachers go to classrooms and students wait, but in our school students go to each classroom where the teachers are waiting.

This system starts from High School.

(2) Passionate teachers

Our teachers teach us in various and unique ways. Most of our teachers don't use textbooks, but their special handouts. This is what makes our teachers so unique and special.

(3) High level classes

Our classes are said to be very high level. These high level classes bring out our intellectual curiosity, and also our motivation to learn.

3. Excursions

Every year in May, each grade (not including the 12th grade) has an excursion.

7th grade	Myo-ko Highlands	4days
8th grade	Research around Tokyo	2days
9th grade	Research around Tohoku	4days
10th grade	Sugadaira Highlands	4days
11th grade	Research around Kansai	5days

~ School events ~

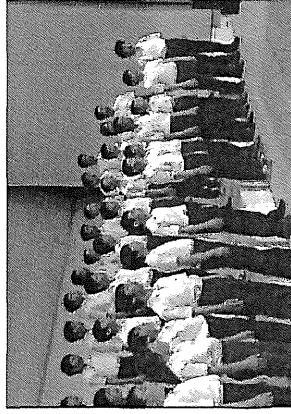
We have many school events throughout the year. Every student participates in the events. In this guidebook, we would like to show 4 of our biggest events.

1. Chorus Competition

Our first big event of the year is the Chorus Competition, which is held in June. Every class in the school sings two songs each, and competes with other classes to decide which class is the best.

Before the competition, every class takes time practicing their songs.

We practice before school, after school, and sometimes on weekends.



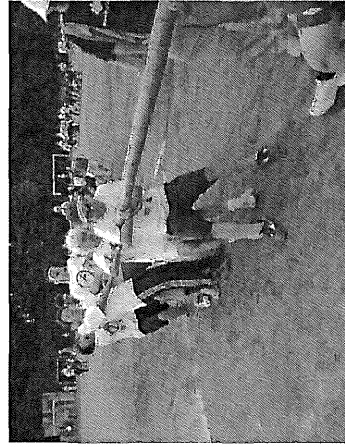
2. Sports Festival

The next big event is the Sports Festival. This festival lasts for two days. We compete with the other 3 classes in our grade and try to get highest score in total. At the Sports Festival, we do over 20 kinds of sports, such as tennis, volleyball, basketball, and handball.

We also do unique sports like sumo, kendo, dodge ball, and a bamboo version of tug-of-war. We also practice with our teammates before the festival.

We use a unique system called "Olympic system" to do all 20 sports in two days.

The system is simple. Like the real Olympics, several sports are played at the same time.



3. School Festival

The biggest event of the year is the School Festival.

Over 13,000 people come to see our school during the festival. Most of them are students from other schools, and parents of the school students.

At the festival, there are plays and displays from each class and also from groups.

There are also food booths, stage shows, arcade booths, and even auction booths!

The most unique point is that the back bone of the festival is the 12th Grade. Even though they are busy before the entrance exam, they use all of their energy for their final festival of High School life.



4. Road Race

Our last big event of the year is the Road Race.

We run along the river near to our school. The race takes place in the middle of the winter, so it is very cold.

Most students prepare for the race by running around the school field and also on weekends.

At the race, the High School students run 8 kilometers, and the Junior High School students run 4 kilometers.

